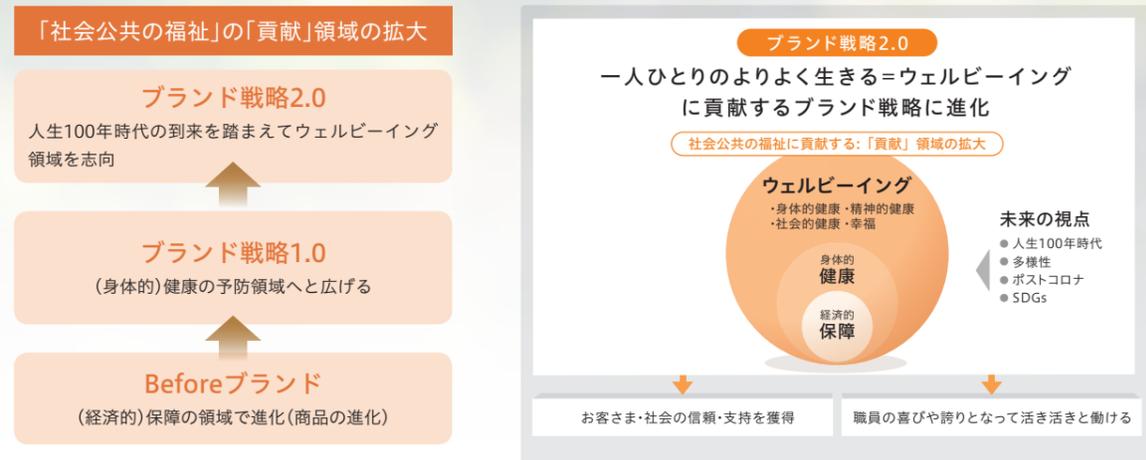


特集

Well-being ウェルビーイング

一人ひとりのよりよく生きる = ウェルビーイングに貢献する

「社会公共の福祉に貢献する」ことこそが、住友生命の創業以来の変わらぬ存在意義です。しかし、「社会公共の福祉」への貢献領域は社会の環境とともに変化するため、従来の(経済的)保障の領域から、この10年の間には(身体的)健康の予防領域へと拡大しました。次の10年では、人生100年時代の到来を踏まえて、ウェルビーイング領域へとさらに進化していくことを目指しています。



ウェルビーイングを掲げて目指す姿

住友生命は、「一人ひとりのよりよく生きる = ウェルビーイングに貢献する[なくてはならない]生命保険会社の実現を目指しています。この目指す姿の実現のため、デジタルも活用しながら「人に根差した価値」にさらに磨きをかけるとともに、「住友生命「Vitality」の更なる進化や新規ビジネスへの挑戦等を通じて、ウェルビーイングを支えるサービスのエコシステムの確立を目指していきます。



Vitalityによる新たな価値の提供

「住友生命「Vitality」は、「リスクに備える」という従来の生命保険の価値に加えて、お客さまの健康増進活動を促すことで「リスクそのものを減少させる」という価値を提供することができる革新的な商品です。「毎年変動する保険料」と「提携企業(リワードパートナー)による特典」という、2つの大きな特徴があり、お客さまの「継続的な」健康増進活動を促すプログラムを組み込んでいます。

WaaSエコシステムの拡大

住友生命は、人生100年時代の生命保険を、「Well-being as a Service (WaaS)」すなわち「よりよく生きるための一つのサービス」として位置付けています。現在、健康増進の理念に共感いただいている国内17社のパートナー企業と提携し、「Vitality」を中心とした「一人ひとりのよりよく生きる = ウェルビーイング」を支えるサービスをエコシステムとして展開しています。このWaaSエコシステムの拡大に向けた新規パートナー提携の取組みの一環として、大手生命保険会社初となるCVCファンド「SUMISEI INNOVATION FUND」を立ち上げています。今後、WaaSの中核となるVitalityによる「健康増進」を一層推進していくことに加え、オープンイノベーションによる新規事業/サービスの開発の方向性として、人生100年時代において誰もが経験する「病」と「老」の課題解決を進めていきます。疾病があってもよりよく生きるための「Disease Management」サービス、齢を重ねる中でもよりよく生きるための「Well-Aging」サービス、加齢に伴う様々な課題にポジティブに向き合いよりよく生きるための「Wellness Life」サービスの開発に取り組んでいきます。



“住友生命「Vitality」”とは

2018年7月に発売した健康増進型保険「住友生命「Vitality」」は、生命保険契約に、継続的に健康増進活動に取り組むことをサポートするVitality健康プログラム(※1)を組み込んだ商品です。

働けなくなったときのリスクに備える「未来デザイン1UP」や、がんとともに生きる時代に対応する新商品「がんPLUS ALIVE」をはじめとした保険本来の保障に加え、お客さまの日々の健康増進活動を包括的に評価し、毎年の取組実績に基づき判定されたステータスに応じて保険料の割引(※2)を受けることができます。また、フィットネスジムの月会費割引や旅行の割引などの様々な特典(リワード)によって、お客さまの健康増進への取組みをサポートする商品です。

※1: Vitality健康プログラムの利用については、保険料とは別にVitality利用料が必要になります。
※2: 保険料は割引になるケースだけでなく、ステータスによって割増になることもあります。



リスクに備える保険契約

ケガや病気による入院・手術、働けなくなった場合などに備えて保障を提供する

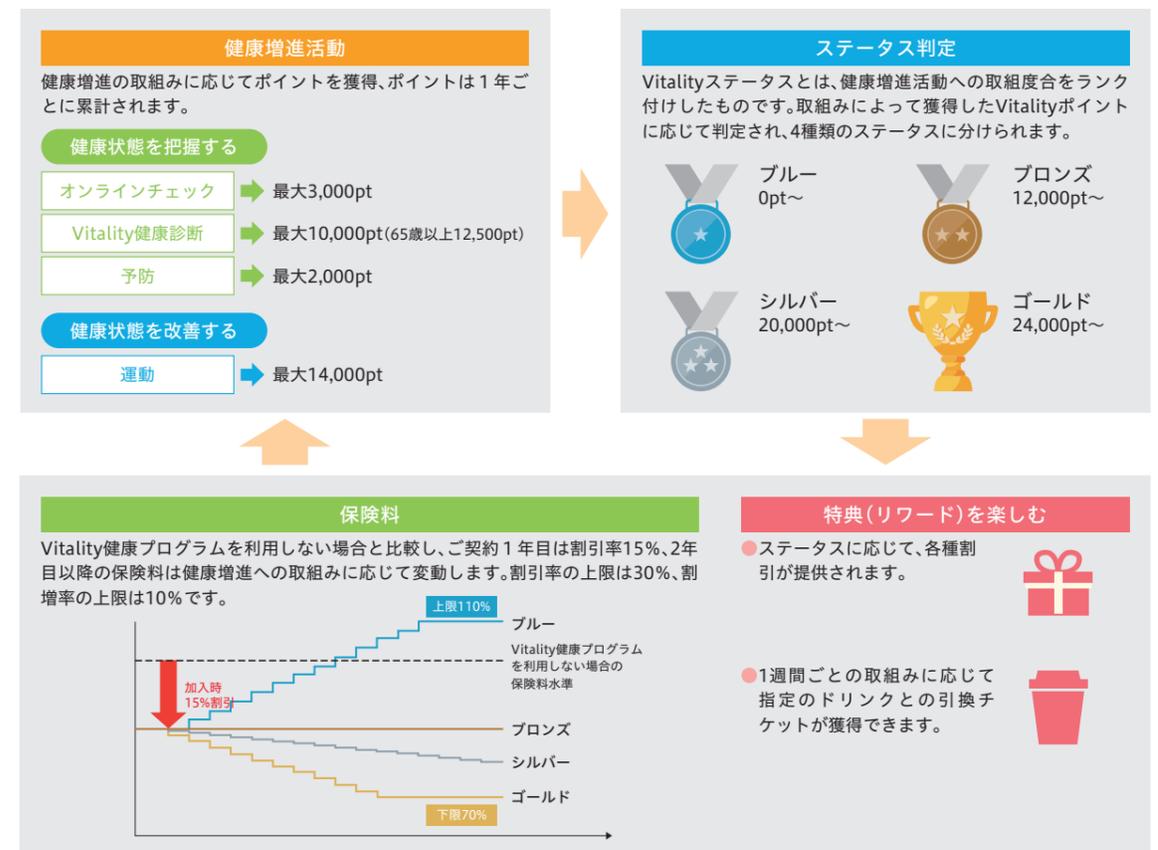
☑主に、病気等にかかった場合(リスク)に備える機能

リスクを減らすVitality健康プログラム

健康増進活動の評価、各種特典(リワード)による健康増進のサポート

☑健康状態のみならず、継続的な健康増進活動を評価し、ステータスに応じて保険料が変動
☑健康増進活動をサポートするさまざまな特典(リワード)
☑病気等のリスクそのものの減少に寄与する

“住友生命「Vitality」”の全体像



Well-being ウェルビーイング

Well-being ウェルビーイング